

SureSmile® アライナー

理想の笑顔が手の届くところに

目立ちにくいマウスピース矯正

— Counseling Sheet

矯正の必要性

- 01 矯正が必要な理由
- 02 良くない歯並び(不正咬合)とは？
- 03 良くない歯並び(不正咬合)と口腔内環境
- 04 矯正による見た目の変化

- 05 Column — 歯列(歯並び)の重要性
- 06 Column — 咀嚼の重要性



矯正が必要な理由

矯正治療は、歯並びが気になる方の
見た目の悩みを解決するだけに留まらず、
歯並びを整えることにより健康面にも良い影響を及ぼします。

&?#%&?

顎の筋肉バランスが崩れ
発音に影響



歯並びが気になって
思い切り笑えない



虫歯や歯周病などの
発症リスクが増大

矯正治療でこれらの原因を軽減。
より自信に満ちた健康的な笑顔へ。



良くない歯並び(不正咬合)とは？

良くない歯並びのことを「不正咬合」と呼びます。

以下が、矯正が必要な不正咬合の代表的な例です。

ご自分の歯並びがどれかに当てはまるか、ご確認ください。

良くない歯並びの例



叢生(乱ぐい歯)

歯が並ぶスペースが足りず
重なりガタガタしている状態。



交叉咬合

いくつかの前歯が
前後逆になっている状態。



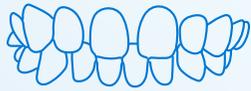
上顎前突(出っ歯)

下の前歯より上の前歯が前方に
大きく出ている状態。



下顎前突(受け口)

上の前歯より下の前歯が
前に出ている状態。



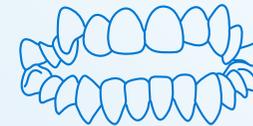
空隙歯列(すきっ歯)

歯と歯の間に
大きなスペースがある状態。



過蓋咬合

上の前歯が下の前歯に
深く被さっている状態。



開咬

前歯が噛み合わせず、
上下に隙間が空いている状態。

良くない歯並び(不正咬合)と口腔内環境

歯並びが良くない(不正咬合がある)と、歯ブラシが届きにくい箇所があるため、口腔内環境が悪くなる原因になってしまいます。
その結果、虫歯や歯周病などになるリスクが高まります。

矯正前



色がついた
箇所は
磨けていない

不正咬合が原因で
歯のトラブル等が発生する
可能性があります

虫歯

歯周病

顎などの発育障害

矯正後



不正咬合を解消することで
口腔内を清潔に保て
トラブルのリスクが減少します

矯正治療によって歯が長持ちし、健康の維持につながります。

矯正による見た目の変化

矯正することには、顔や口元がすっきりする効果もあります。
歯並びを良くすることで、笑顔に自信が持てるようになり、
見た目も気持ちも若々しくなります。

矯正前



矯正治療 約6カ月後



DATA

女性・43歳

治療期間

約9カ月

マウスピース枚数

上顎27枚・下顎39枚

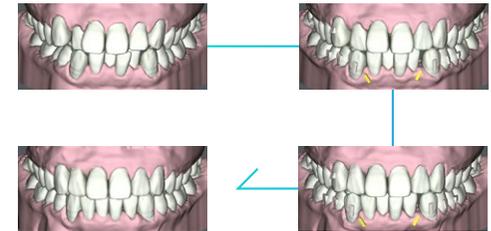
1

笑顔の写真を元に
治療計画を決定



2

コンピューターで
シミュレーション、
マウスピースを作成



Column

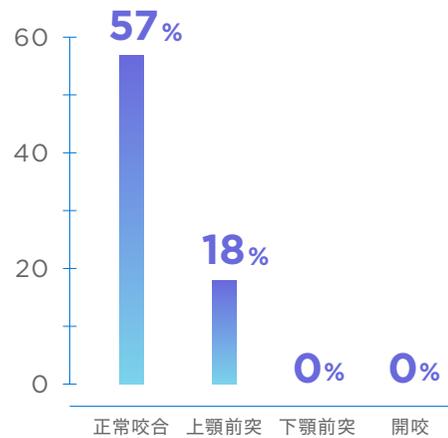
歯列(歯並び)の重要性

歯列(歯並び)を整えることには、さまざまなメリットがあります

8020を達成する可能性が高まります

1999年「8020達成者の歯列咬合の観察」(東京歯科大学 茂木悦子先生著)

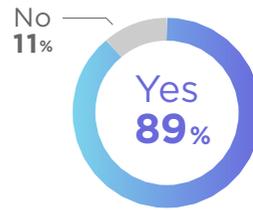
歯列咬合の違いによる
8020達成者の割合は?



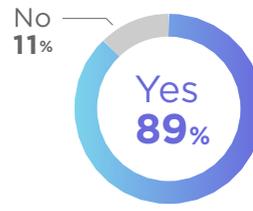
機能的、心理的な好影響があります

1999年「不正咬合・矯正治療が及ぼす心理的・機能的影響」(岡山大学歯学部歯科矯正学講座)

矯正治療して良かった

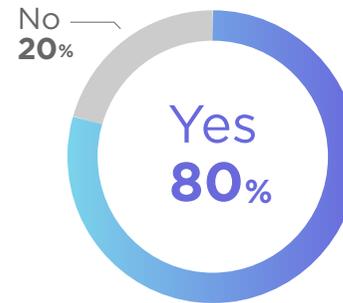


MEN

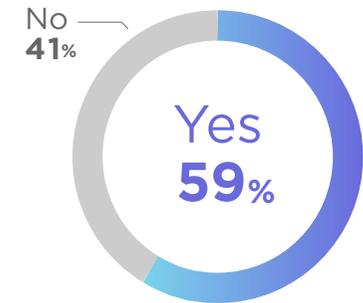


WOMEN

前歯または奥歯で
良く噛めるようになった



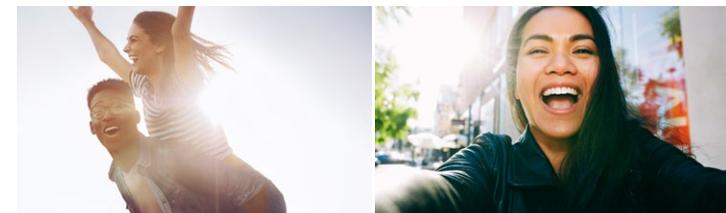
消極的だった性格が
積極的になった



Column

咀嚼の重要性

噛むこと、噛み合わせには、さまざまな効果があります



咀嚼(噛むこと)の重要性

病気の予防や症状の改善から、脳の老化防止による運動機能の向上まで、咀嚼(噛むこと)には非常にたくさんの効果があります。

がんの予防	ボケの予防	糖尿病の予防	虫歯になりづらい
口臭の予防	骨粗しょう症の予防	アトピーの予防	姿勢の改善
視力の改善	性格が積極的に	食欲の増進	太りづらく

出典：一般社団法人 日本訪問歯科協会

噛み合わせと全身状態

噛み合わせがずれると全身の骨格がずれて筋肉のバランスも崩れ、こりや偏頭痛、腰痛や膝痛などの原因になります。

噛み合わせセルフチェック

- 口を大きく開くとあごの関節が鳴る
- 前歯の上下をかみ合わせたときにずれる
- 大きく口を開いても、タテに2本の指が入らない
- 歯が抜けたままになっている
- 鏡で顔を見たときに左右のバランスがずれている
- 物を食べるときに、左右のどちらか片側でよく食べる